

17.3期 決算説明会資料

2017年5月決算説明会
レシップホールディングス株式会社

17年3月期実績

17年3月期実績 まとめ

■売上 輸送機器事業、産業機器事業ともに増収

- 営業利益 ① 北米向け運賃收受システムの開発が一段落したことにより、北米向け費用が縮小
 ② 増収効果
 ③ 円高による(仕入れ原価への)プラスの影響

【単位:百万円】	16/3期	17/3期	前期比	
			増減額	率
売上高	16,203	16,985	+782	+4.8%
売上原価	13,120	13,026	-94	-0.7%
売上総利益	3,082	3,959	+876	+28.4%
販売管理費	3,654	3,475	-178	-4.9%
営業利益	-571	483	+1,055	-
経常利益	-649	354	+1,003	-
税引き前利益	-1,272	342	+1,614	-
当期純利益	-1,378	50	+1,429	-
一株当たり利益	-125.25	4.59	+129.84	-
為替レート (US\$)	120.16	108.72	-11.43	-9.5%

【単位:百万円】	16/3期	17/3期	前期比	
			増減額	率
輸送機器	11,424	11,674	+249	+2.2%
- バス	8,964	9,279	+315	+3.5%
- 鉄道	1,585	1,454	-130	-8.3%
- 自動車	874	940	+65	+7.5%
産業機器	4,734	5,267	+533	+11.3%
- 電源	2,293	2,874	+581	+25.3%
- エコ・高電圧	834	655	-179	-21.5%
- EMS	1,606	1,737	+131	+8.2%
その他	44	43	-0	-0.9%
合計	16,203	16,985	+782	+4.8%

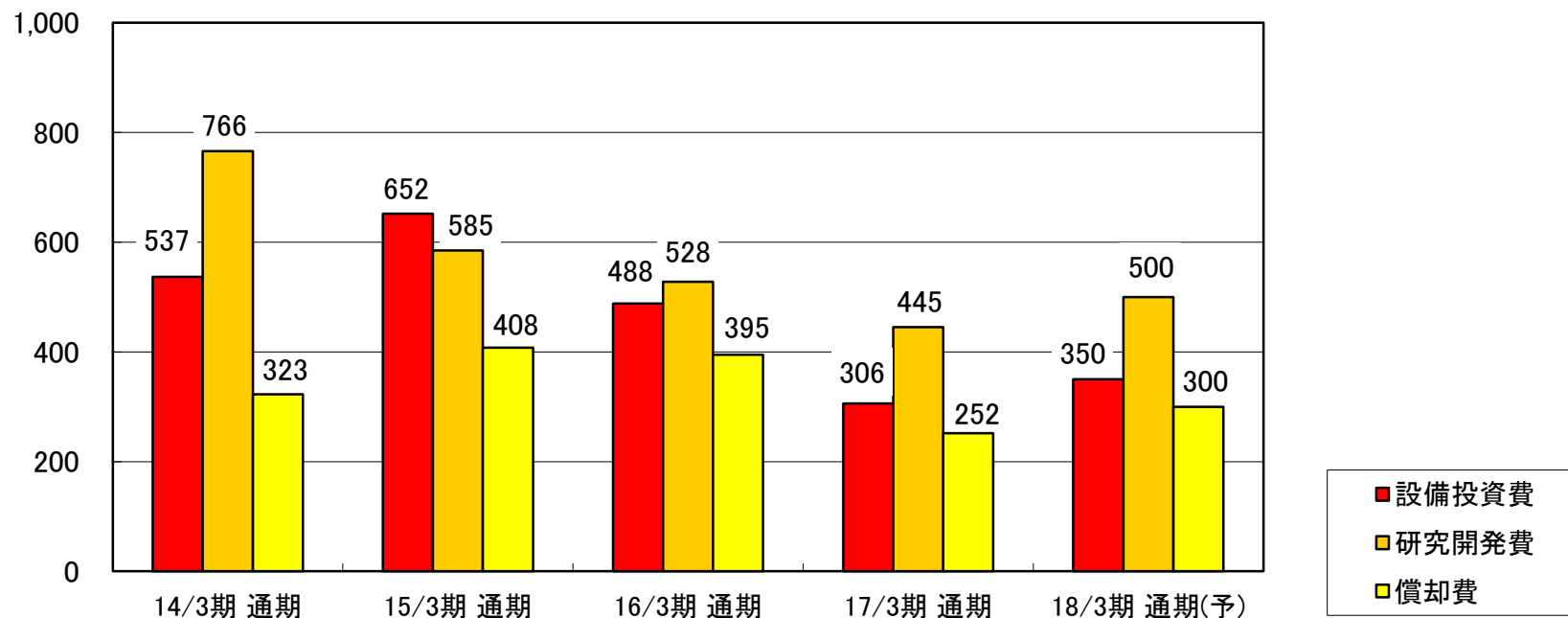
研究開発費、設備投資、償却費の推移

17/3期

■研究開発費 北米向けAFC、TMS車載器、鉄道向け灯具、首都圏向け次世代ICカードユニット、等

■設備投資費 北米向けAFC、バス・鉄道・自動車向け灯具の金型、社内インフラ設備、等

(単位:百万円)



セグメント別業績 輸送機器事業

【単位:百万円】

		16/3期	17/3期	増減	%
売上高	バス	8,964	9,279	+315	+3.5
	鉄道	1,585	1,454	-130	-8.3
	自動車	874	940	+65	+7.5
	合計	11,424	11,674	+249	+2.2
営業利益	合計	-638	226	+864	-

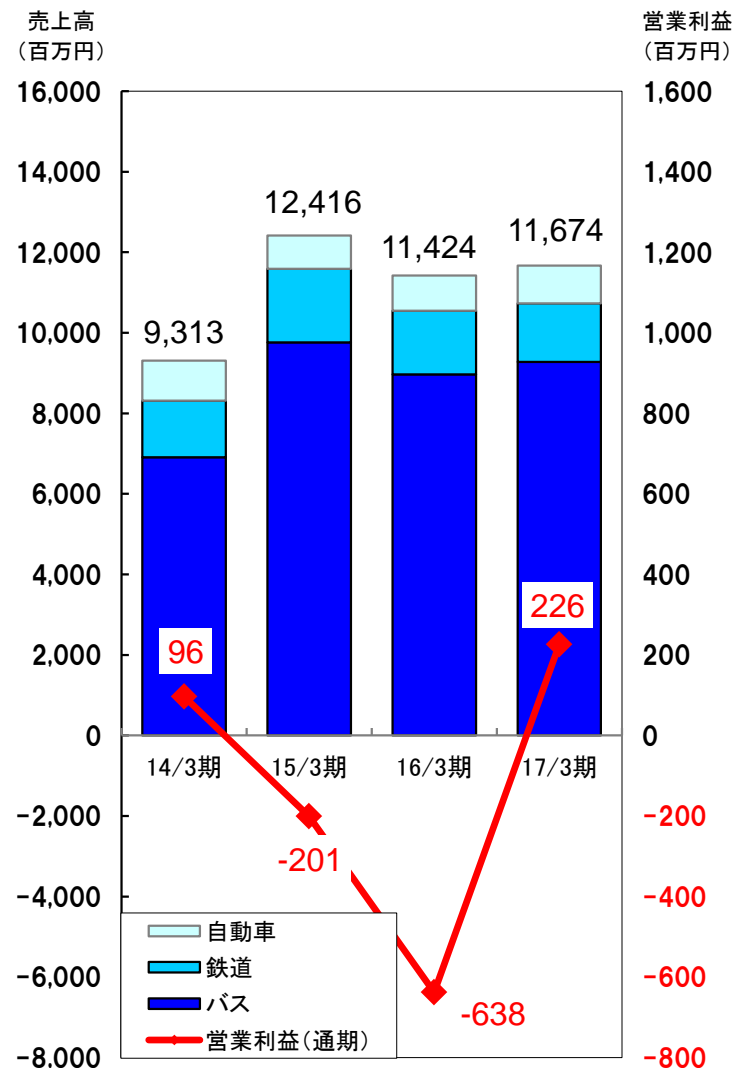
【売上増減要因】

○ 国内バスは、車載用液晶表示器OBC-VISIONやカラーLED行先表示器など車載表示機器が増収に寄与。また、国内の路線・観光バスの生産が好調につき、LED灯具や押しボタンなどの標準搭載品の売上が好調

○ 鉄道は微減、自動車(トラック)は微増

【利益増減要因】

○ 北米向け開発費が一段落で黒字回復



セグメント別業績 産業機器事業

【単位：百万円】

		16/3期	17/3期	増減	%
売上高	電源	2,293	2,874	+581	+25.3
	EMS	1,606	1,737	+131	+8.2
	エコ照明	834	655	-179	-21.5
	合計	4,734	5,267	+533	+11.3
営業利益	合計	127	315	+187	+147.3

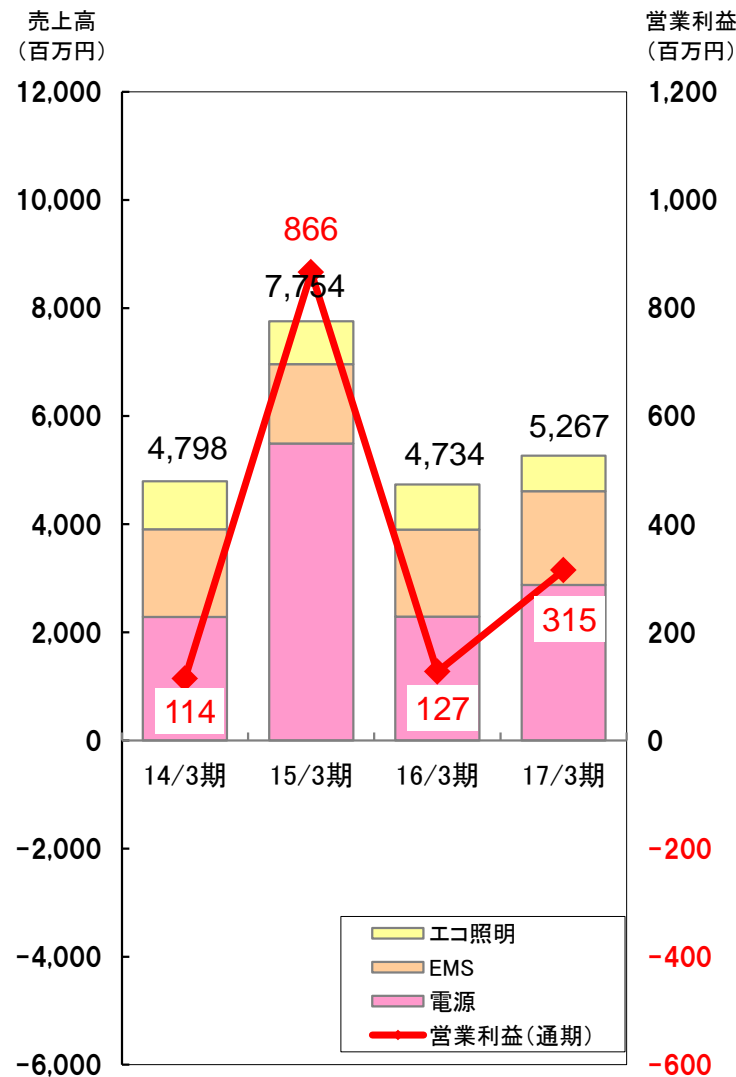
【売上増減要因】

○通信基地局向け無停電電源装置の納入量増加

【利益増減要因】

○増収効果

○円高により仕入原価にプラスの影響



(参考)貸借対照表

(単位:百万円)		16/3末	17/3末	差異	
資産	現金及び預金	848	1,558	709	
	受取手形及び売掛金	5,149	5,430	280	
	棚卸資産	3,093	2,488	-605	
	その他	1,407	820	-586	
	流動資産 計	10,499	10,296	-202	
	固定資産	有形固定資産	1,415	1,391	-24
		無形固定資産	647	599	-48
		投資その他の資産	611	761	150
	固定資産 計	2,674	2,752	78	
	資産の部	13,173	13,048	-124	
負債	支払手形及び買掛金	2,173	1,406	-766	
	借入金	4,336	3,704	-632	
	その他	2,925	3,302	377	
	流動負債 計	9,435	8,413	-1,021	
	固定負債 計	460	1,135	674	
負債の部	9,895	9,549	-346		
純資産の部	3,277	3,499	221		
負債・純資産合計	13,173	13,048	-124		

(参考) キャッシュフロー

(単位:百万円)		16/3末	17/3末
税引等調整前当期純利益		△1,272	342
売上債権の増減		1,321	△285
たな卸資産の増減		△253	577
仕入債務の増減		△17	280
その他		544	220
営業活動によるキャッシュフロー		324	1,135
有形資産の取得・売却		△261	△219
無形資産の取得・売却		△251	△56
投資有価証券の取得・売却		△25	△95
子会社株式の取得		—	—
その他		△16	△15
投資活動によるキャッシュフロー		△555	△386
短・長期借入金の増減		513	35
自己株式の取得・売却		36	36
配当金、その他		△147	△131
現金及び現金同等物に係る換算差額		△7	19
現金及び現金同等物の増減額		164	709
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額		17	—
現金及び現金同等物の期首残高		612	793
〃 期末残高		793	1,503

今期18/3期の予想

【単位:百万円】	17/3期 実績	18/3期 見通し	前期比	
			増減額	率
売上高	16,985	18,000	+1,015	+6.0%
売上原価				
売上総利益				
販売管理費				
営業利益	483	300	-183	-38.0%
経常利益	354	300	-54	-15.3%
税引き前利益				
当期純利益	50	30	-20	-41.0%
一株当たり利益	4.59	2.70	-1.89	-41.2%
為替レート (US\$)	108.72	110.00	+1.28	+1.2%

【輸送機器事業】

- 国内バス市場において、2018年より首都圏で大規模なICリプレースを控えていることから、運賃箱の需要が端境期にある一方、ICリプレースの準備が必要
- 車載用表示機器は引き続き好調を維持
- 北米で鉄道灯具の大型案件がスタートするため、生産立ち上げの初期費用が発生予定

【産業機器事業】

- 17年3月期の業績に貢献した通信基地局向け無停電電源装置が減収見通し

中期経営計画

中期経営計画

期間

2016年4月～2021年3月までの5年間

タイトル

Challenge Again 2020 (CA2020)
～安定的な売上200億円に向けて、チャレンジ・アゲイン～

重点課題

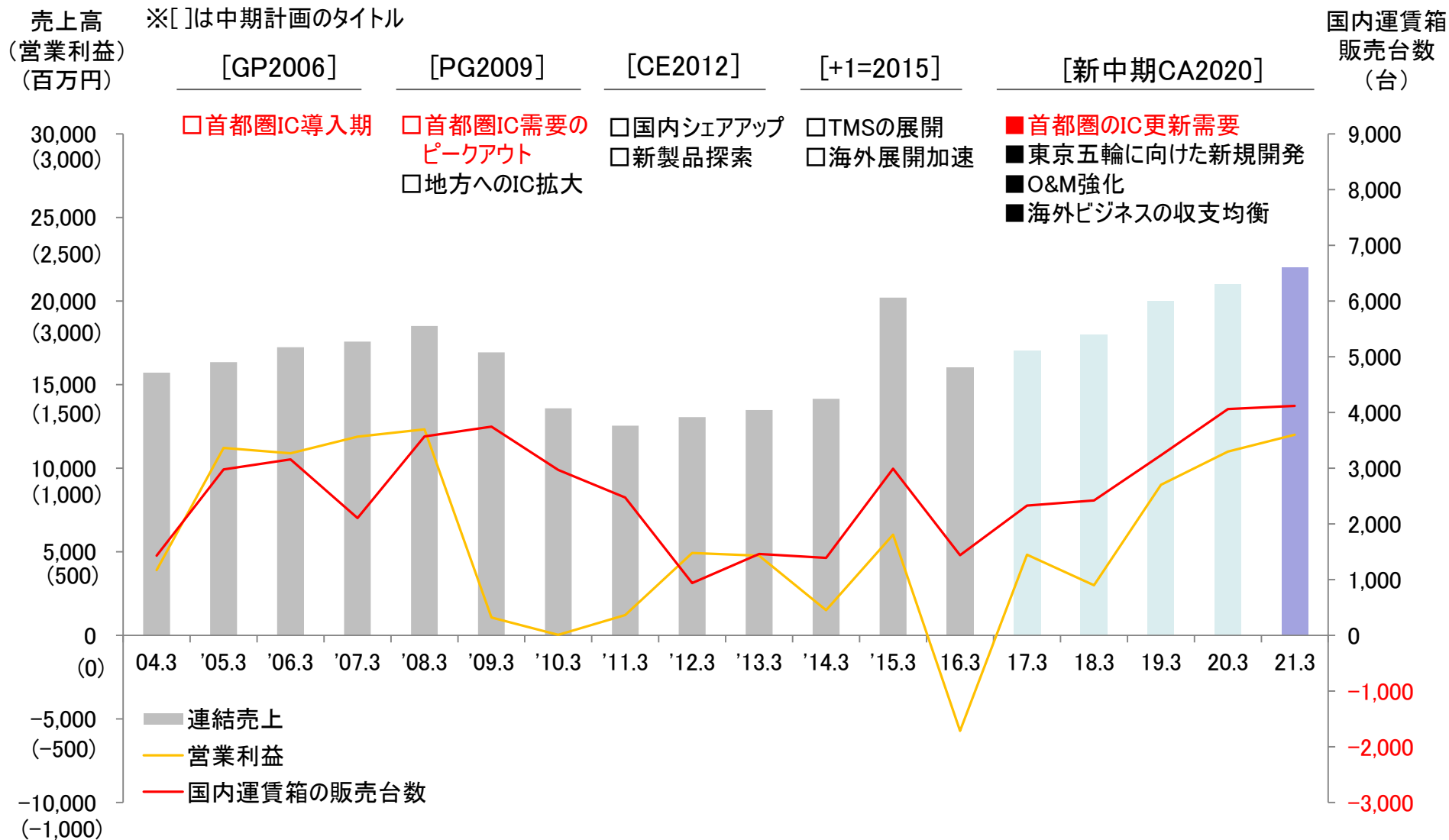
1. イノベーションで業界をリードする新商品企画と拡販
2. アフターサービスの強化によるお客様満足度の向上
3. 海外におけるビジネス基盤の確立
4. 品質向上による顧客信頼の確保
5. プロジェクトの見える化によるQCDDの向上

定量目標

売上高 200億円以上、営業利益 10億円以上を安定的に計上する



バス用運賃箱の販売台数と業績推移



CA2020の基本方針

	既存分野	新分野
新市場 海外	<ul style="list-style-type: none"> ・米国 ・スウェーデン ・シンガポール ・タイ <p>の4拠点にてそれぞれ特色ある活動を展開</p>	
既存市場 国内	<ul style="list-style-type: none"> ○インバウンド対応(バス) <ul style="list-style-type: none"> ー表示機器、ICカード片利用案件、等 ○輸出車両への対応力強化(鉄道) ○屋外用UPSの用途展開(電源) ○O&M(運用保守)の強化(全市場) 	<ul style="list-style-type: none"> ○TMS・運行管理システム <ul style="list-style-type: none"> ーバスロケーションシステム ー自動歩進システム ○エクステリアライトの強化(自動車)

開発体制、保守体制の整備

売上高200億円に向けた、開発・メンテナンス体制の増強

● 東京技術開発部の拡充

→2017年中に25人体制を目指す

● 海外鉄道部の拡充

→現在9人にまで戦力増強(その他、米国子会社に専属が4人)

● 保守、メンテナンス体制の整備

→O&Mセンターを中心に10人体制を目指す

● プロジェクト管理の強化

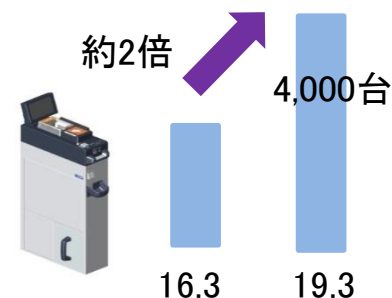
→3年かけてプロジェクト管理システムに約3億円を投資(進行中)

国内ビジネス まとめ

首都圏ICカードのリプレース

- 首都圏のIC共通化ユニット約16,000台が2019年までに順次更新予定（うち、当社は9,000台の受注を見込む）
- 運賃箱の性能改善、小型化
- プロジェクトごとの進捗を管理するシステムを導入

運賃箱の販売台数(全国)



東京オリ・パラに向けた新製品開発



気仙沼BRT

- 首都圏のBRT（バス高速輸送システム）運行に向けた新たなビジネスチャンス
- 次世代車載機器、バス停案内表示器の開発






観光・インバウンド対応



- 液晶表示器（OBC-VISION）の多言語化
- カラーLED式行先表示器の拡販
- ICの10カード片利用案件の増加

国内ビジネスの見通し

◆ 2020年度に向けて、各市場とも視界は良好

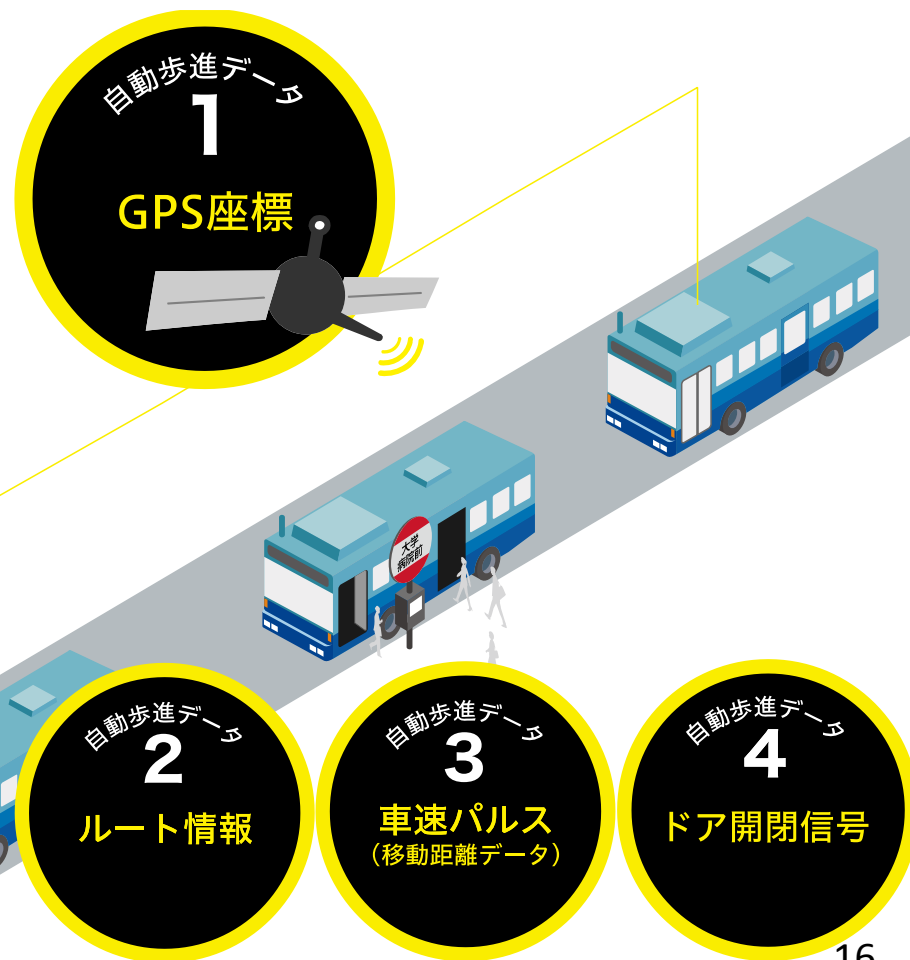
国内市場	見通し	要因
バス(輸送機器)		<p>①運賃箱及びICカードシステムについて、首都圏のICリプレースが2018年よりスタート。併せて運賃箱の販売台数が現在の年2000台前後から4000台以上に。</p> <p>②車載用液晶表示器OBCが引き続き好調を維持。インバウンド対応のための4か国語表示やデジタルサイネージ需要増。</p> <p>③バスロケーションシステムや自動歩進装置など、運行管理システム(TMS)の商材を強化中</p>
鉄道-灯具(輸送機器)		国内の新車生産台数は、2016年以降は現在の約1500両から2000両前後に増加する見通し。国内向け海外向けともに増加。
自動車(輸送機器)		排ガス規制(ポストポスト新長期)が2017年にスタートするにあたり、一時的な反動減はあるが、中期スパンでは中・小型トラックは引き続き好調を維持する見通し。
無停電電源装置(産機)		<p>①通信基地局向け電源は補助金政策を背景に需要継続。</p> <p>②一方のケーブルテレビ向けは、光への置き換えにより需要減。</p>
フォークリフト用充電器(産機)		15年に市場再編はあったが、総需要は高位安定。バッテリー式FLの国内生産台数は、過去5年間で年平均4.0%の伸び。

自動運転化にらんだ車載機器の自動化／システム化

- ・バス車内の停留所表示／運賃表を自動更新するシステム＝自動歩進を開発
- ・運転の安全性、運賃誤収受の防止に寄与

次の停留所名/運賃を自動更新

次は 市民体育館			
1	2	3	4
2030	1030	980	930
5	6	7	8
880	830	780	730
9	10	11	12
680			



海外ビジネス まとめ



SWEDEN
LECIP ARCONTIA AB

クレジットカード含む非接触カード決済端末の開発と拡販

バス用運賃收受システム、鉄道向け灯具の実績作りと拡販

USA
LECIP INC

21.3期目標：海外売上高40億円

レシップエスエルビー株式会社
レシップ電子株式会社
レシップエンジニアリング株式会社
岐阜DS管理株式会社
レシップ産業株式会社

- ① ASEAN地区での灯具・充電器の拡販
- ② ASEAN地区からの調達量拡大

THAILAND
LECIP THAI CO., LTD.

SINGAPORE
LECIP (SINGAPORE) PTE LTD



運行管理システム、料金箱の定期保守対応



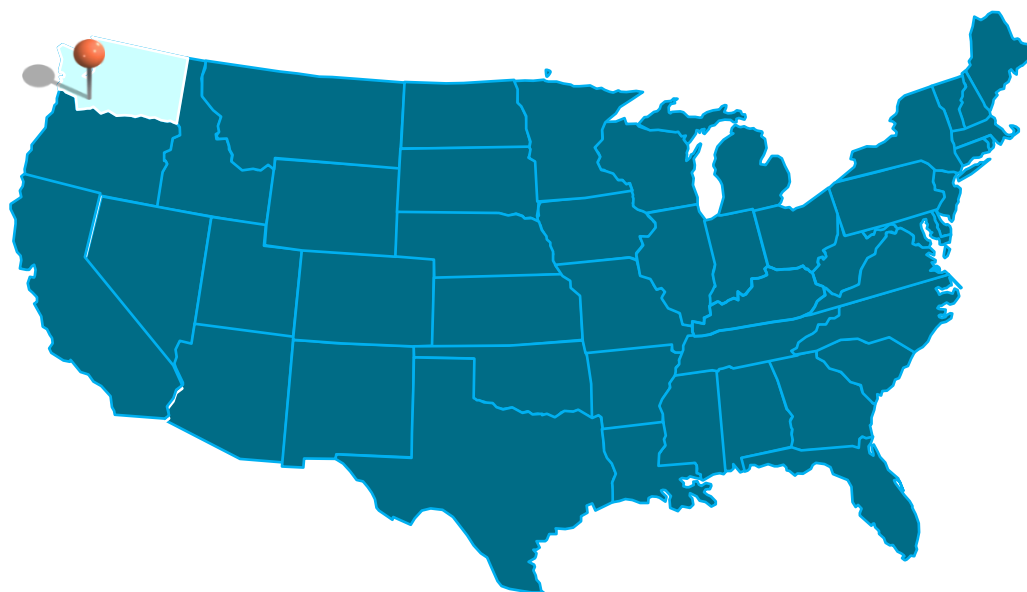
北米AFC自動運賃收受システム

米国市場に自動運賃收受システムを納入(日本企業として初)

日時 : 2016年7月

納入先: 米国ワシントン州クラーク郡交通局(下記地図) バス100台以上を保有

特徴 : 日本で培われたコインの一括投入、コイン・紙幣の自動計数機能を搭載

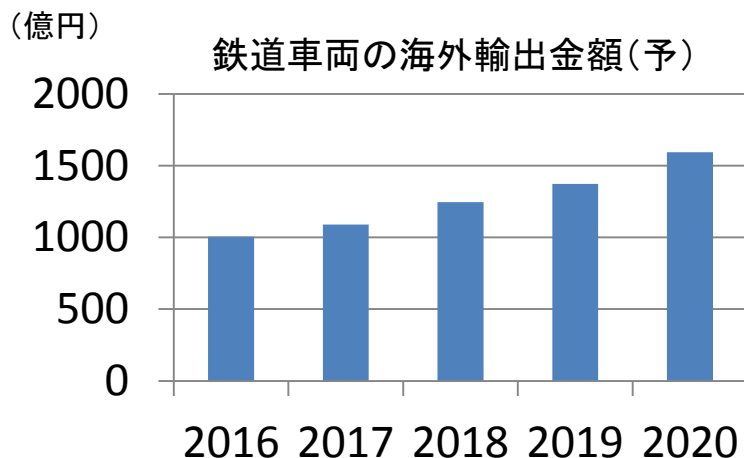


海外鉄道ビジネス

海外向け鉄道案件のリソースを拡充し、海外向け灯具ビジネスを拡大

拡大する輸出車両対応

- ・日系車両メーカーの輸出車両案件を継続して受注
- ・今後も拡大が見込まれる



社) 日本鉄道車輛工業会資料より

北米の現地生産車両対応

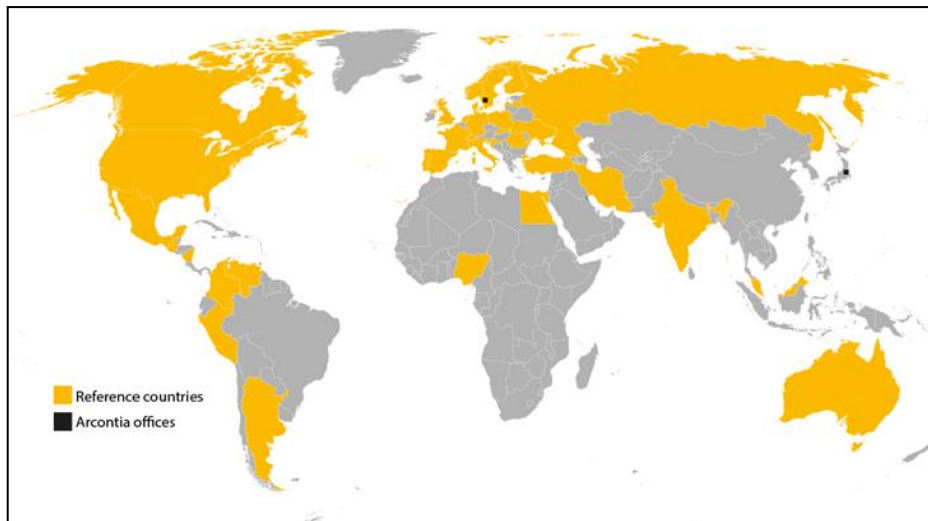
- ・川崎重工業の米国子会社より、NYの通勤車両 M9向けLED灯具を、オプション含めて約15 m USDで受注
- ・2017年夏より5年間かけて納入予定



M9車両のイメージ図

非接触ICカードシステム

Arcontia — 2013年に買収したSwedenのIC端末メーカー



これまで世界40ヶ国以上にICリーダー端末・基板の納入実績あり。欧州を中心とした、世界中のシステムインテグレータとの繋がりが強み。

欧州でトレンドとなっている**非接触クレジットカード決済の規格 EMV Co L1 を2016年12月に取得**

オランダ初(世界的には、英国に次ぐ2番目)のEMVパイロットプロジェクトに、ARCONTIA社のIC端末が採用される



ロシア・モスクワメトロのすべてのゲートにARCONTIA社のICリーダーが採用されている



株主施策

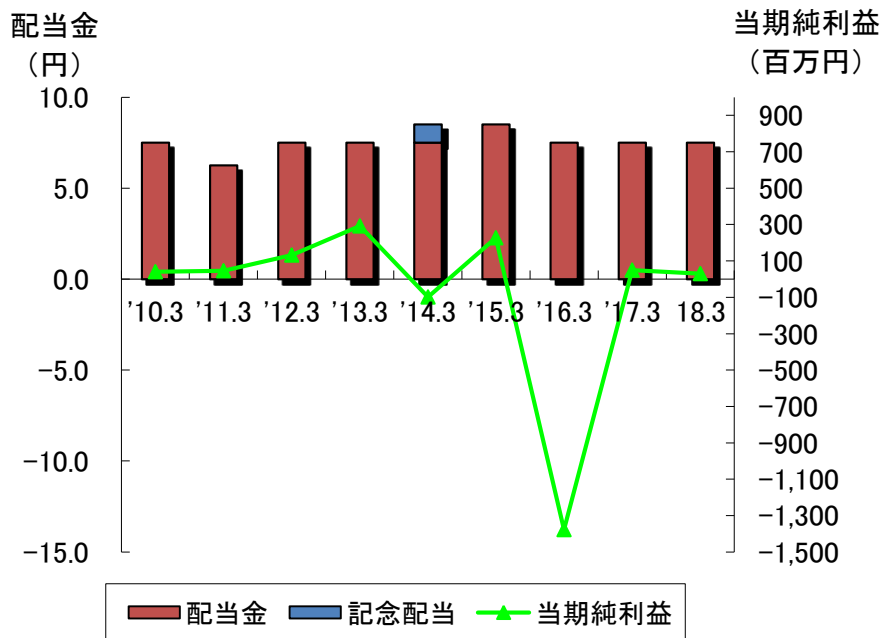
配当

配当の状況

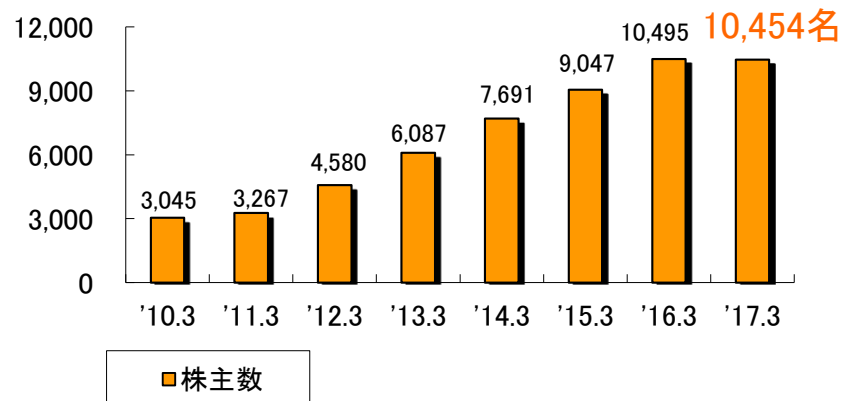
- 16.3期 普通配当 7.5 円
- 17.3期 普通配当 7.5 円
- 18.3期 普通配当 7.5 円(予定)



優待: 地元岐阜県産の富有柿(2000円相当)



株主数(人)



会社概要説明

会社概要 (1/6)

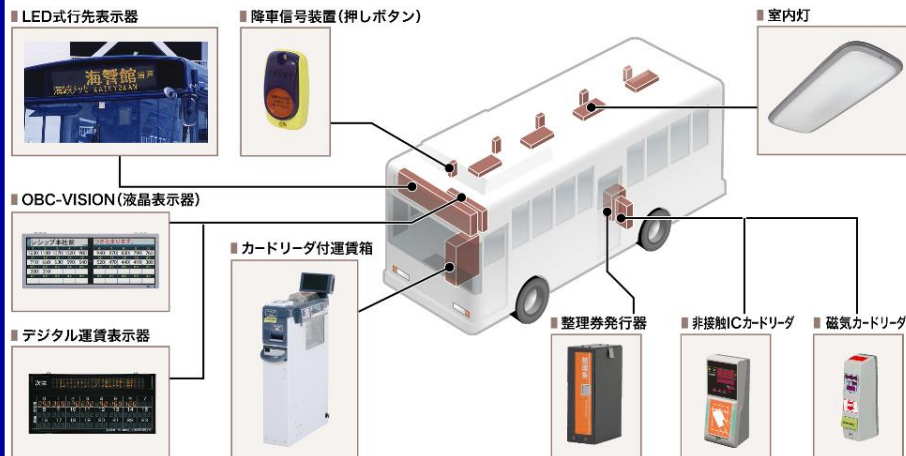


会社名	: レシップホールディングス株式会社 (LECIP HOLDINGS CORPORATION)
設立	: 1953年3月
代表者	: 代表取締役社長 杉本 眞
本社所在地	: 岐阜県本巣市上保1260番地の2
資本金	: 7億3,564万円
発行済株式総数	: 12,798,200株
上場証券取引所	: 東証1部、名証1部 (証券コード: 7213)
連結子会社	: 8社 (国内4社、海外4社)
連結従業員数	: 538名 (国内506名、海外32名)

会社概要 (2/6)

== 輸送機器事業 ==

バス市場向け製品



- 国内唯一の、「バス用電装機器トータルサプライヤー」
- 多くの製品で国内トップシェアを獲得

TMS・運行管理システム



鉄道市場向け製品



ワンマン鉄道用
運賃箱

車両用照明灯具

- ワンマン鉄道用機器と、車両用照明灯具を展開
- 鉄道用ワンマン機器は、国内90%以上のシェアを獲得

自動車市場向け製品



自動車用照明灯具(車内・荷室内照明用)

- 自動車用蛍光灯具のパイオニア、国内トップシェアを獲得
- LED灯具の拡販推進

会社概要 (3/6)

== 産業機器事業 ==

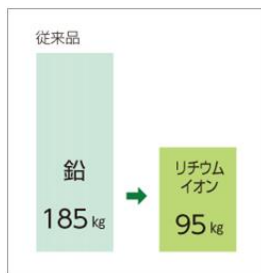
電源ソリューション



フォークリフト用充電器



基地局向け耐雷トランス



リチウムイオン搭載の無停電電源装置

- フォークリフト用充電器で国内トップシェアを獲得
- 屋外用無停電電源装置(UPS)を多用途展開

エコ照明 & 高電圧



LED電源と直管型LED灯具



ネオン変圧器

EMS



プリント基板実装ライン

レシップ電子株式会社にて、プリント基板の実装ラインを10ライン保有

会社概要 (4/6)

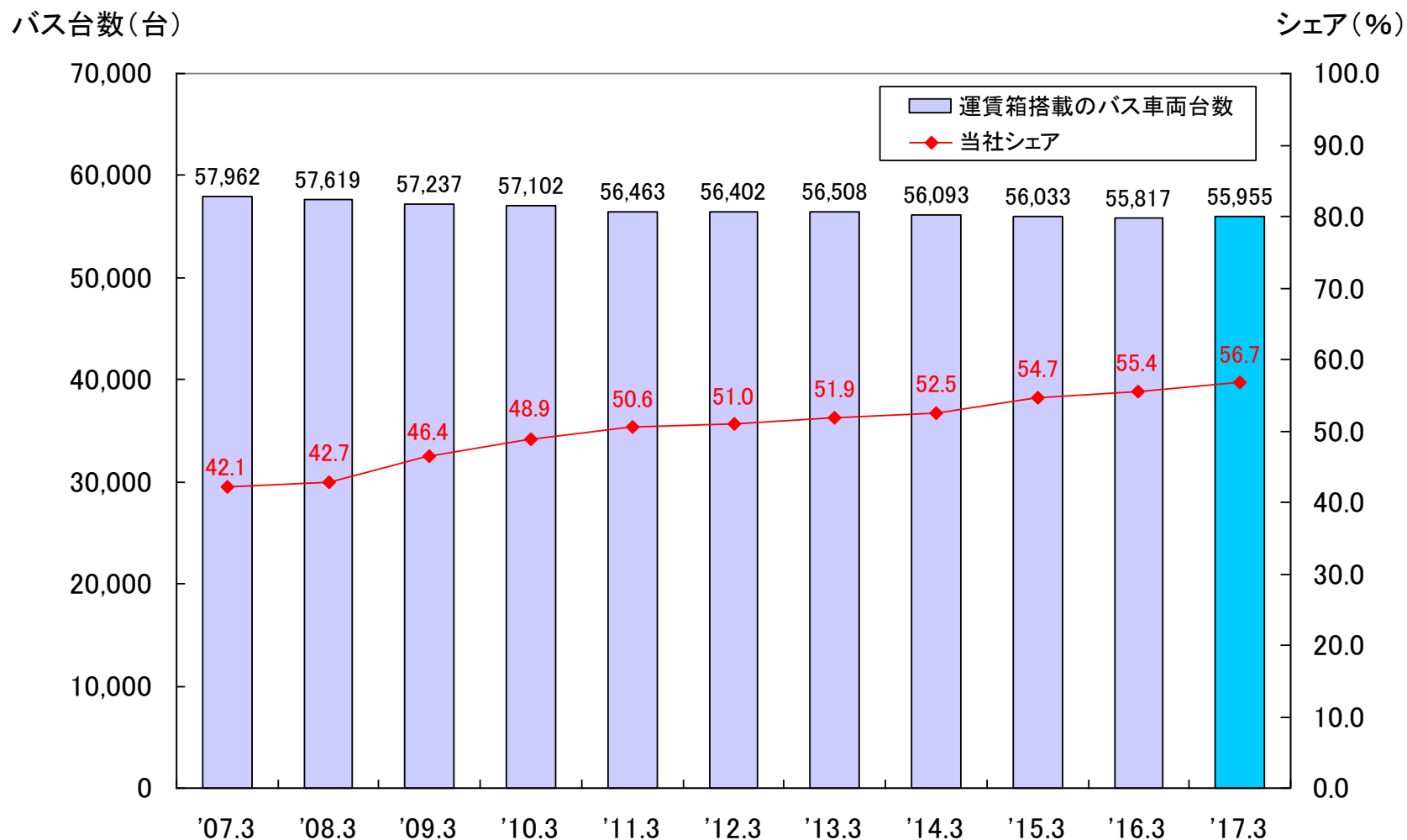
「ニッチ・トップ」の方針で、多くのトップシェア製品を保有

(単位: %)

			13年3月期 期末	14年3月期 期末	15年3月期 期末	16年3月期 期末	17年3月期 期末
輸送機器	バス	(バス用)運賃箱	51.9%	52.5%	54.7%	55.4%	56.7%
		ICカードシステム	57.4%	58.3%	60.3%	59.9%	61.0%
		液晶表示器	73.1%	69.4%	72.4%	74.4%	74.9%
		LED行先表示器(カラー・アンバー)	41.4%	40.9%	41.7%	41.8%	42.2%
	鉄道	(鉄道用)運賃箱	91.2%	91.2%	91.2%	90.4%	90.4%
		(鉄道用)車両用蛍光灯具	29.1%	19.4%	16.4%	15.3%	19.5%
	自動車	トラック用蛍光灯具	85.0%	84.8%	85.5%	85.4%	87.0%
産業機器	巻線式ネオン変圧器		90.1%	95.3%	98.2%	94.3%	95.3%
	バッテリー式フォークリフト用充電器		57.4%	56.3%	57.9%	57.6%	56.0%

* 当社調べ

会社概要 (5/6)



会社概要 (6/6)

	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期	13年3月期	14年3月期	15年3月期	16年3月期	17年3月期	18年3月期 予想
売上高	16,933	13,585	12,551	13,059	13,480	14,157	20,215	16,203	16,985	18,000
営業利益	1,070	29	121	493	477	151	603	-571	483	300
営業利益率 (%)	(6.3)	(0.2)	(1.0)	(3.8)	(3.5)	(1.1)	(3.0)	(-3.5)	(2.8)	(1.7)
経常利益	1,104	64	154	514	526	164	779	-649	354	300
経常利益率 (%)	(6.5)	(0.5)	(1.2)	(3.9)	(3.9)	(1.2)	(3.9)	(-4.0)	(2.1)	(1.7)
当期純利益	521	41	46	132	292	-98	227	-1,378	50	30
当期純利益率 (%)	(3.1)	(0.3)	(0.4)	(1.0)	(2.2)	(-0.7)	(1.1)	(-8.5)	(0.3)	(0.2)
総資産	10,417	10,521	9,698	10,347	9,791	12,677	14,431	13,173	13,048	—
純資産	5,339	5,289	5,275	5,308	4,755	4,614	4,637	3,277	3,499	—
自己資本比率 (%)	51.2	50.3	54.4	51.3	48.6	36.4	32.1	24.9	26.8	—
EPS(円)※	81.61	6.55	7.34	20.80	46.85	-9.05	20.76	-125.25	4.59	2.70
ROE (%)	10.1	0.8	0.9	2.5	5.8	-2.10	4.9	-34.8	1.5	—
BPS(円)※	835.49	827.65	825.60	830.76	877.37	422.21	422.30	297.03	315.51	—

LECIP GROUP

【資料お問合せ先】

レシップホールディングス株式会社

経営企画室

電話番号 : (058) 323-7647

(将来予測について)

本資料のうち業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。